

人に好かれる「4つの褒め方」

心にもない褒め言葉はただのお世辞で見抜かれます、敬う気持ちを忘れずにいたいものです

1：真っ直ぐ伝える褒め方

例) 「すごいですね」「いいですね」「上手いですね」「可愛いですね」「素敵ですね」

相手がしたこと、上手くいったこと、見た目、それをそのまま伝えるシンプルな褒め方です。心からそう思っているなら、それを伝えましょう。

2：変化に気付いて伝える褒め方

例) 「あれ？髪型変えた？似合ってますね」「あれ？新しいカバン？可愛いですね」

相手が髪型を変えて入社してきた、登校してきた。相手の変化をした時、まずはそれに気づき伝えましょう。外見も内面も、相手に変化があったら、それを伝えてあげるのも「褒め言葉」の一つと言えます。

3：相手のしたことを質問で敬う褒め方

例) 美味しい料理を作ってくれた⇒「なぜそんなに料理上手なの？料理教室に通ったり、誰かに教えてもらったりしてるんですか？」

例) スポーツで良い結果を残した⇒「どうやってそこまでの結果を出せるようになったんですか？何か特別な練習をされてるんですか？」

例) 会社内で1番の功績を上げた⇒「どうやってそこまでの成績を上げられるようになったんですか？」

これらは質問ですが、相手の方がしてきた見えない努力、がんばりについて、「教えて下さい」と、お願いの質問をしてみましょう。相手を尊敬する気持ちがあると、自然とこういう質問が生まれるんだと思います。それを言葉にしてみましょう。

4：自分の感情と行動の変化を伝える

例) 会社の上司に向かって⇒「〇〇部長のおかげで、最近仕事にやりがいを感じられるようになってきました。ありがとうございます。」

例) 友達に向かって⇒「あなたがいてくれるから、毎日が楽しいよ。ありがとう♪」

相手の存在を肯定することは、相手を褒めることと言えます。おかげで感情や行動が、どう良いように変化したかを伝えることは、最高の称賛と感じます。感謝の言葉を、自分の変化とともに伝えてみましょう。